

高野小学校の取組み

～自己肯定感の育成を図る教育活動と児童の変容～



棚倉町立高野小学校

自己肯定感の育成を図る教育活動

1 学びの基盤づくりの視点から

- 学習計画表・キャリアパスポートの活用

2 探究学習づくりの視点から

- 総合的な学習の時間の取組み

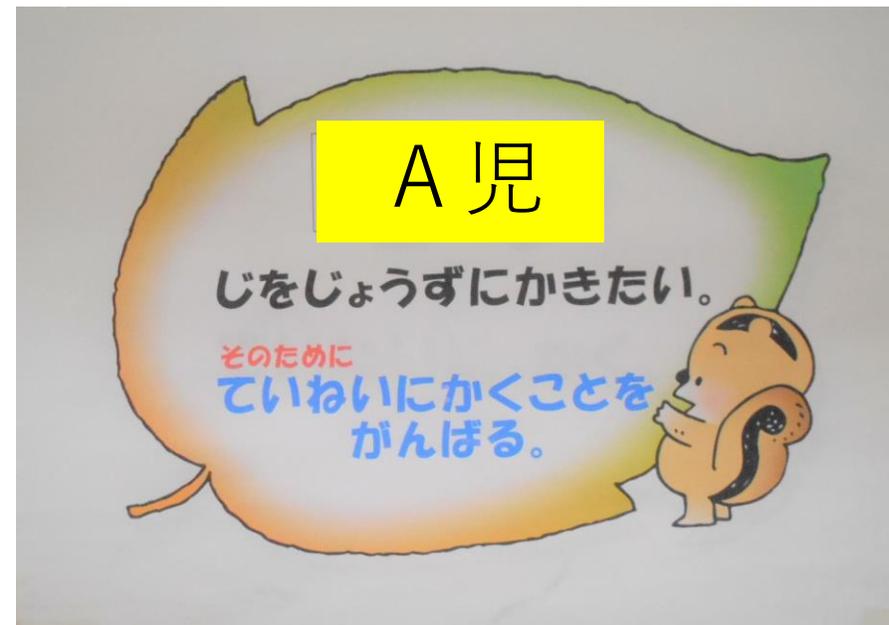
3 ICT推進の視点から

- マイ自由研究発表会 プログラミング学習

学びの基盤づくりの視点から

1 学習のめあてを立て、学習への意欲を高める

単元の間など、比較的長いスパンでのめあて
黒板下に掲示



1 学習のめあてを立て、学習への意欲を高める

読むことが苦手で、国語の授業に集中できなかったA児



「字を上手に書きたい」ので「字を丁寧に書く」ことにめあてを決める。



授業に集中できる時間が長くなり、進んで発表できるようになった。

国語の学習をふり返らせ、視写が得意であることに気づかせる。

姿勢よく丁寧に書いているところを褒める。

1 学習のめあてを立て、学習への意欲を高める

「こくご」ふりかえりカード

9がつ11 にち()

なまえ **A児**

はなす	
<input type="radio"/>	おおきなこえで はっぴょうする。
<input checked="" type="checkbox"/>	ていねいな ことばづかいで はっぴょうする。
<input checked="" type="checkbox"/>	じぶんから すすんで はっぴょうする。
<input checked="" type="checkbox"/>	だれに きいてほしいかを かんがえて はなす。
きく	
<input type="radio"/>	はなすひとをみて きく。
<input checked="" type="checkbox"/>	はなすひとの きもちを かんがえながら きく。
<input type="checkbox"/>	てわすらしなくて きく。
<input type="radio"/>	じぶんの かんがえと くらべながら きく。
かく	
<input checked="" type="checkbox"/>	ていねいに かく。
<input type="checkbox"/>	じのかたちや かきじゅんに きをつけて かく。
よむ	
<input type="checkbox"/>	おおきなこえで よむ。
<input type="checkbox"/>	すらすらと よむ。
<input checked="" type="checkbox"/>	たくさんよんで あんしょう できるようにする。

他と比べて「書くこと」に関しては◎が多い。

1 学習のめあてを立て、学習への意欲を高める

があぞれんしゅう			
7がつ	27にち	(げつ)	◎
7がつ	28にち	(か)	△
7がつ	29にち	(すい)	◎
7がつ	30にち	(もく)	◎
7がつ	31にち	(きん)	△

めあてに対する評価は△が多く見られた。

ていねいにかく。			
9がつ	23にち	(すい)	◎
9がつ	24にち	(もく)	◎
9がつ	25にち	(きん)	◎
9がつ	28にち	(げつ)	◎
9がつ	29にち	(か)	◎
9がつ	30にち	(すい)	△

評価に◎が多く見られるようになった。
QUテストでも、学習意欲のポイントがアップしていた。

2 キャリアパスポートを効果的に使い、学習や学校生活への意欲を高める

将来の夢や目標
ようち園の先生

○こんな自分になりたい **V** ビジョン **めあてを立てる** **P** プラン **計画する**

こんな自分になりたい (学習面) 五年生でなろう 漢字を覚える。	そのためにすること ドリルの漢字を自学に 書く。
(生活面) 早起きをできるように する。	ねる時間を今までより 早くする。
(家庭・地域) 手伝いをする。	おはあちゃんに料理 を5つ以上教えてもらうように する。
(習い事・資格・好きなことなど) ピアノでいろいろな曲を けるようにする。	宿題の後に、 必ずやる。



かいごし

○こんな自分になりたい **V** ビジョン **めあてを立てる** **P** プラン **計画する**

こんな自分になりたい (学習面) 五年生でなろう 漢字を覚える。	そのためにすること ドリルの漢字を自学に 書く。
(生活面) わすれものを なくす。	前の日にし。かり かくに人する。
抱いさの人に、あいさつ をする。	毎日、あいさつをすることを 意識する。
シュートがたくさん 入るようになる。	トリアプルとシュートを 練習する。
高学年としてがんばること (児童会活動・クラブ活動・学校行事・登下校など) 登校中にふざけている人がいたら、注意する。 下学年のお手本になる。	
先生から めあてを達成するために、やることをしかり計画でき るよう、自分への1つ1つを厳しく行動して、成長でき るようがんばる。高学年の目標を達成できるようにする。	家の人などから バスケやピアノの練習、何事にもチャレンジして 自信を持って頑張ることができるように頑張る。 めあてを達成できるように頑張る。

2 キャリアパスポートを効果的に使い、学習や学校生活への意欲を高める

前期のめあての「手伝いをする」を達成する。



運営委員で毎朝あいさつ運動を行っていることから、「地域の人にあいさつをする」と設定する。

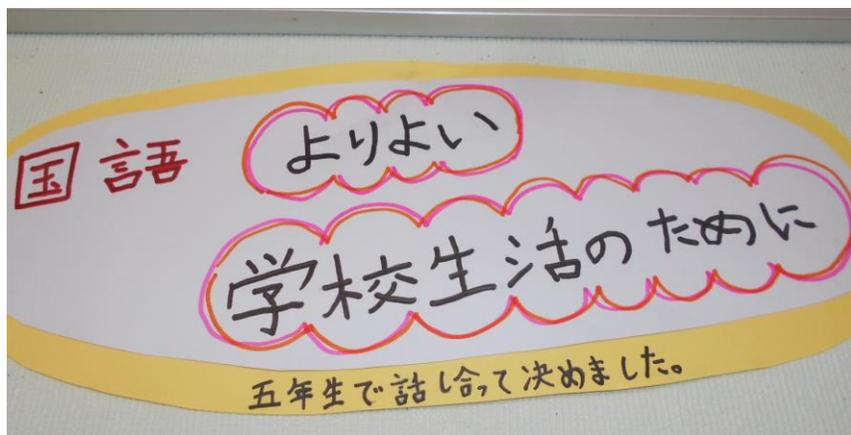


「みんなでやろうあいさつプロジェクト」を中心となって企画・運営

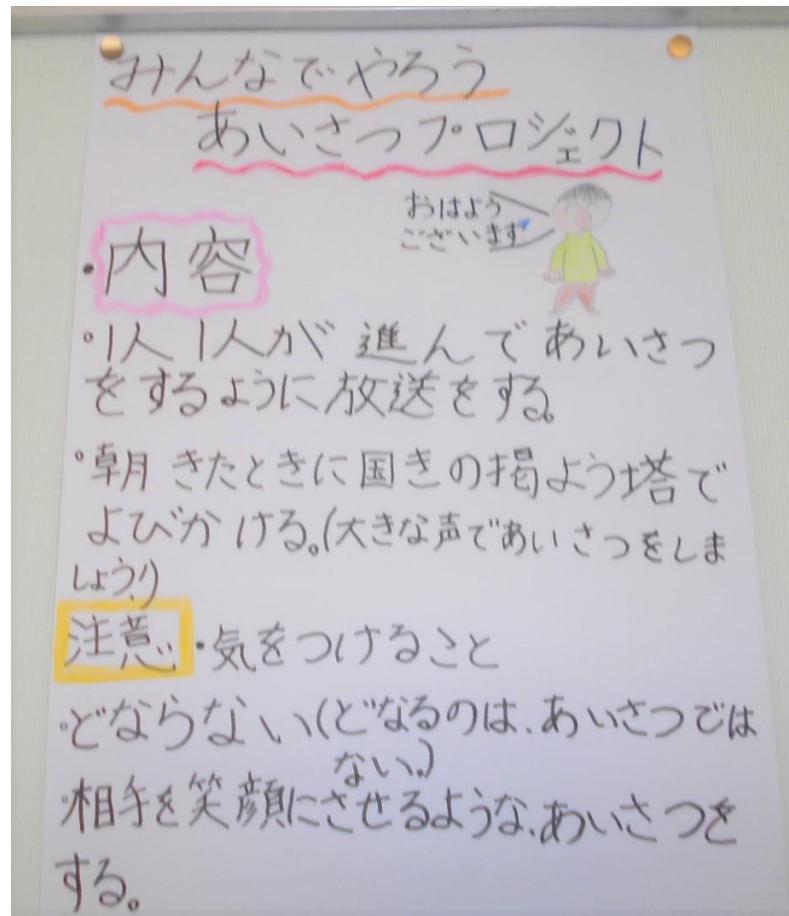
担任から新たなめあてを考えてみるようにアドバイス

意識的にあいさつをしていることを褒める。

2 キャリアパスポートを効果的に使い、学習や学校生活への意欲を高める



みんなでやろう
あいさつプロジェクト



2 キャリアパスポートを効果的に使い、学習や学校生活への意欲を高める

【6月の状況】

○ キャリア意識調査

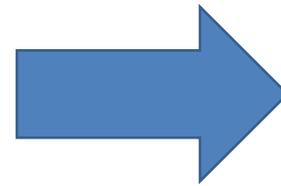
「1」の回答数・・・9

「2」の回答数・・・7

○ QUテスト

【学級生活意欲プロフィール】

・学級の雰囲気 10点



【11月の状況】

○ キャリア意識調査

「1」の回答数・・・10

「2」の回答数・・・6

○ QUテスト

【学級生活意欲プロフィール】

・学級の雰囲気 **12点**

※ 「1」の回答が「している」、「できるなど」

3 自分の課題を正しく認知し、学校生活が充実するようになった児童

自分のことよりも友達の些細なミスが気になって指摘しまう傾向があり、友達との関係で悩む児童



友達への温かい言葉がけをする姿が見られるようになった。



友達と楽しく遊ぶことが増え、QUテストでも学級生活満足群に入る。

キャリアパスポートのめあてを決める際に担任とともに「友達から信頼されるために約束事を守り、言ったことを実行する」というめあてを立てる。

できたときにすかさず褒め、その行動を価値づける。

学びの基盤づくりの視点から

【成果】

○少人数のよさを生かし、**個別に「ほめポイント」を見つけ**、励ましてきたことで、それぞれに伸びが見られた。

○Q Uテストやキャリアアンケートなどの客観的なデータからも伸び見られたり、よさを継続したりできている。

【課題】

○自己肯定感などが低い児童も見られるので、今後もその児童に合った「ほめポイント」を見つけていくことが大事。

○普段の生活の様子とQ Uテスト等の結果が合わない児童もいる。**それぞれの発達段階を見ながらの細かい分析**が必要である。

探究学習づくりの視点から

修学旅行

10月23日

学校行事と総合的学習の時間の関連付け



パンフレット配布



飯盛山から鶴ヶ城を望む



赤べこ絵付け体験

探究学習づくりの視点から

学習発表会

11月14日

台本や構成を児童が
決定し、発表



パンフレットを配
布したことを紹介



白虎隊を熱演！



「ふるさと」を合唱
棚倉への思いを表現

修学旅行・学習発表会への取り組みから

友達との関わりが苦手、自分で考えて行動するのが苦手な児童



最初は、台詞決めや練習がうまく進まない。



練習が軌道に乗り、本番も大成功に終わる。

リーダー的児童がいないグループを組み、それぞれが活躍しなければいけない状況を作る。

それぞれへ実態に応じたアドバイスや支援

友達との上手な関わり方が身に付いてきたBさんについて

学習発表会がんばりカード

☆はやく・わたしの役割

< プロジェクトチーム >

< 配役: >

☆がんばりの記録 よくてきん・・A できた・・B がんばらなくっちゃ・・C

月・日	曜	予 定	めあて	気づき・やるべきこと	先生印
10・28	水	号マ子毛級編一編	C	読み聞かせの練習を頑張った。	
10・29	木	委員会	B	委員会活動が楽しくなってきた。	
10・30	金	マラソン大会	C	マラソン大会で頑張った。	
10・31	土	ステージ練習③	B	ステージ練習が楽しくなってきた。	
11・2	月	ステージ練習② 学校公開2~4			

11・2	月	ステージ練習② 学校公開2~4			
11・4	水	ステージ練習④ みせの 青少年の主張⑤ 元気タイム	A	セリフの練習が楽しくなってきた。 動きもだんだん大きくなった。 前は、おしゃべりを止める	
11・5	木	ステージ練習④ パンジー番巻え(壁)	A	セリフを覚える	
11・6	金	読み聞かせ ステージ練習① 通番会	B	セリフ、動きも覚えてきてきた。 セリフをもう少し覚えてきた	
11・9	月	ステージ練習①	A	動きもセリフも少しづつ覚えてきた。 楽しかった。	
11・10	火	※学習発表会予行①~③ ステージ練習③(半分)	B	重たきは、少し大きくなった。	
11・11	水	ステージ練習① 元気タイム	B	元気な声を出せた。	
11・12	木	ステージ練習⑤ 通番会	A	楽しかった。	
11・13	金	ステージ練習④(半分) 会場作成⑤	A	完璧にできた。動きも入った。	
11・14	土	本番!	AAAA AAAA	本番を無事に終えた。大成功だった。	

A評価が多くなっている

先生から
短い期間でしたが、チームで頑張った姿が印象的で、とても嬉しかったです。白虎隊の旗や、タンバリンの音もよく聞こえてきました。おどろき、嬉しさを上手に表現できていました。おめでとう。



友達との上手な関わり方が身に付いてきたBさんについて

【6月の状況】

○ キャリア意識調査

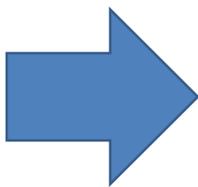
Q. 難しい事でも失敗を恐れないで挑戦している。

→「3」あまりしていないと回答

○ QUテスト

・学級生活不満足群

※ 「1」の回答がしている、できるなど



【11月の状況】

○ キャリア意識調査

Q. 難しい事でも失敗を恐れないで挑戦している。

→「2」どちらかといえばしていると回答

○ QUテスト

・非承認群へ

自分で考え、積極的な行動が目立ってきたCさんについて

【6月の状況】

○ キャリア意識調査

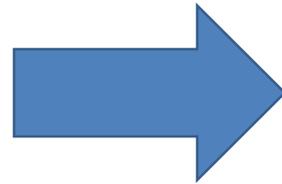
「1」の回答数・・・5

「2」の回答数・・・9

「3」の回答数・・・2

○ QUテスト

・非承認群



【11月の状況】

○ キャリア意識調査

「1」の回答数・・・**11**

「2」の回答数・・・5

○ QUテスト

・**学級生活満足群**

※ 「1」の回答が「している」、「できる」など

探究学習づくりの視点から ②

かしこく楽しいプロジェクト（全学年）

学年ごとに考えたプロジェクトを実行する。



1年ダンボール迷路



2年高ポンゆうびんかんしゃさい

生活科の学習と
結びつけた1・
2年生の実践に
ついて紹介

かしこく楽しいプロジェクト

幼稚園生から招待された
「ショップ高野」で楽しませて
もらったお礼をしたい！

自分たち（5人）だけで楽しむより、
みんなを楽しませたい！



以前、小学生が作ってくれて自分たちが楽しかった
「ダンボール迷路」を作って、幼稚園生に楽しんでも
らおう！



プレゼンテーション

かしこく楽しいプロジェクト

プロジェクト実施までの手順

(1) プレゼンテーションの予約を取る。



(2) 校長・教頭へのプレゼンテーション



かしこく楽しいプロジェクト

プロジェクト実施までの手順

(3) プレゼンテーションで許可をもらったら活動開始



(4) かしこく楽しいプロジェクト当日



(5) 校長・教頭へ活動の報告

幼稚園だけでなく
全校生が楽し
みました。



かしこく楽しいプロジェクト

1回目のプレゼンテーションの際に校長・教頭から受けた課題を教室で報告できなかった。



2回目ではメモを取りながら話を聞き、無事に伝えることができた。



忘れ物をしたときや忘れないようにしたいときに、メモする習慣が身に付き成長することができた。

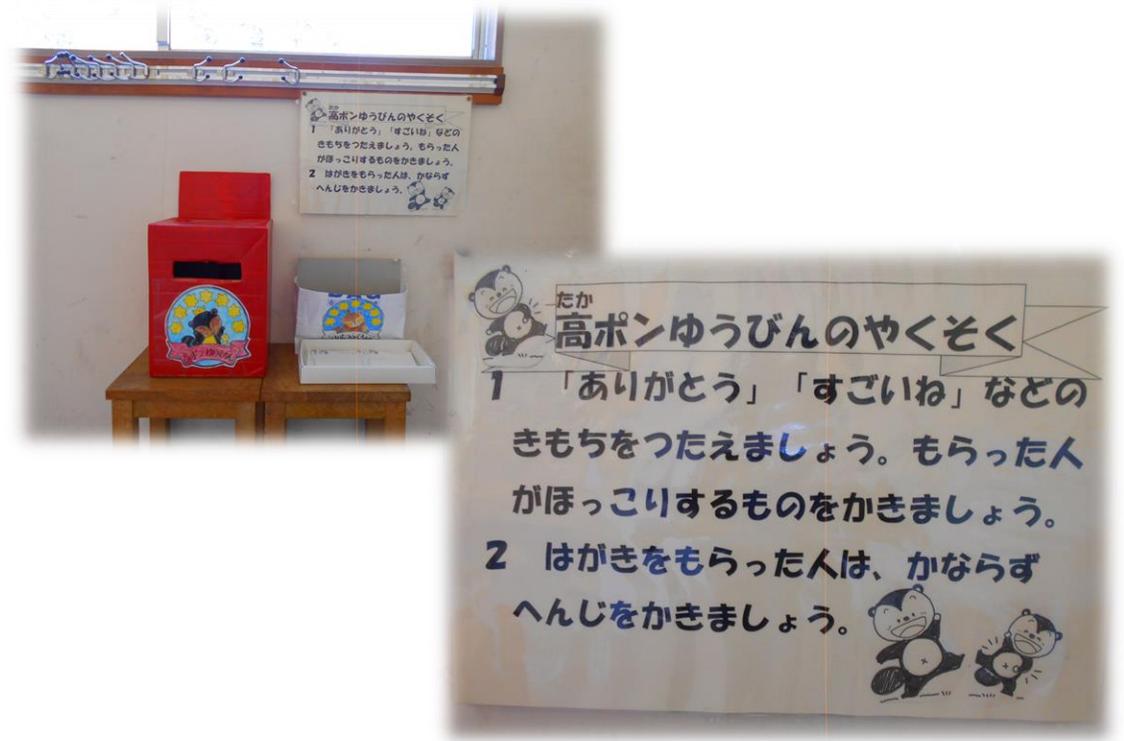
筆記用具を持たずにプレゼンテーションに臨んだため、メモをとれなかった。

メモすることの大切さを実感することができた。

かしこく楽しいプロジェクト

高ポンゆうびんかんしゃさい

「高ポンゆうびん」は、生活科の学習と関連した郵便の仕組みを体験するもの。ポストに入っている全校生、全職員に感謝の気持ちなどを伝える手紙を2年生が収集、配達を行い、やり取りしている。



かしこく楽しいプロジェクト

高ポンゆうびんかんしゃさい

今年度の本校の重要項目の「自己肯定感の育成」の向上を目指して、担任が学年の児童だけでなく、全校児童の自己肯定感の向上に取り組む。今年度の本校の重要項目の「自己肯定感の育成」の向上を目指して、担任が学年の児童だけでなく、全校児童の自己肯定感の向上に取り組む。



かしこく楽しいプロジェクト

本校児童は、自己肯定感が低い傾向が見られる。



担当の2年生は全校生のために働くことで、他の学年は友だちからの感謝の手紙をもらうことで、自己肯定感を高める一助となっている。

2年生の学習と関連付けた「高ポンゆうびん」で学年児童、全校生の自己肯定感を高めたい。



探究学習づくりの視点から

【成果】

- 探究学習の成果を学校行事と関連付けて発表するなど、**児童の目的意識を高める**ことで、より成長させることができた。
- 少人数のよさを生かした、**一人一役（以上）の経験**を積み重ねることで、それぞれが大きく成長した。

【課題】

- どの取組みもすばらしいものであったが、**マンネリ化をしないように、工夫改善を続けていく**ことも必要である。



I C T 推進の視点から

I C T 活用について



各教科の調べ学習



プログラミング学習

マイ自由研究発表会

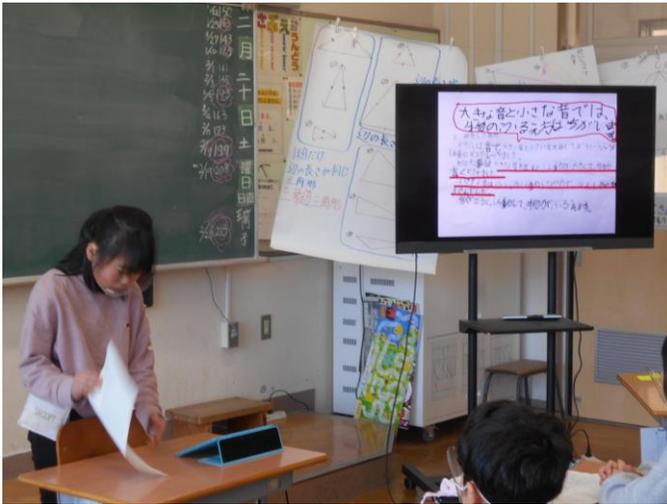
リモート授業での活用

ICT推進の視点から

マイ自由研究発表会

2月20日

本来は夏休み明けに行われる発表会



調べたことをタブレットで発表。



ロイロノートを使用して、写真やネットで調べたページをつないで発表している。



写真に書き込みもできる。

マイ自由研究発表会への取組みから

少人数のため大人数の前で発表することがない。

授業の内容とは別に自分の課題を追究する機会の保証（内容は理科以外でもOK）



自分の力でやりとげた達成感を味わうとともに、タブレットに慣れ親しむことができるようになる。

【昨年の様子から】



夏休みを利用して課題追究したことを発表する場としてのマイ自由研究発表会。保護者も参観する。

マイ自由研究発表会への取り組みから

【成果】

- 課題決定から課題解決までのプロセスが身に付く。
- タブレット操作に慣れ親しむことができた。
- 普段の学習では発表が苦手な児童も自信をもって発表できた。**

【課題】

- タブレット（ロイロノート）の操作に慣れるまでは、学習進度が遅くなる。
- まとめて発表できる児童でも、操作自体が困難な壁になることがある。**

マイ自由研究発表会への取組みから



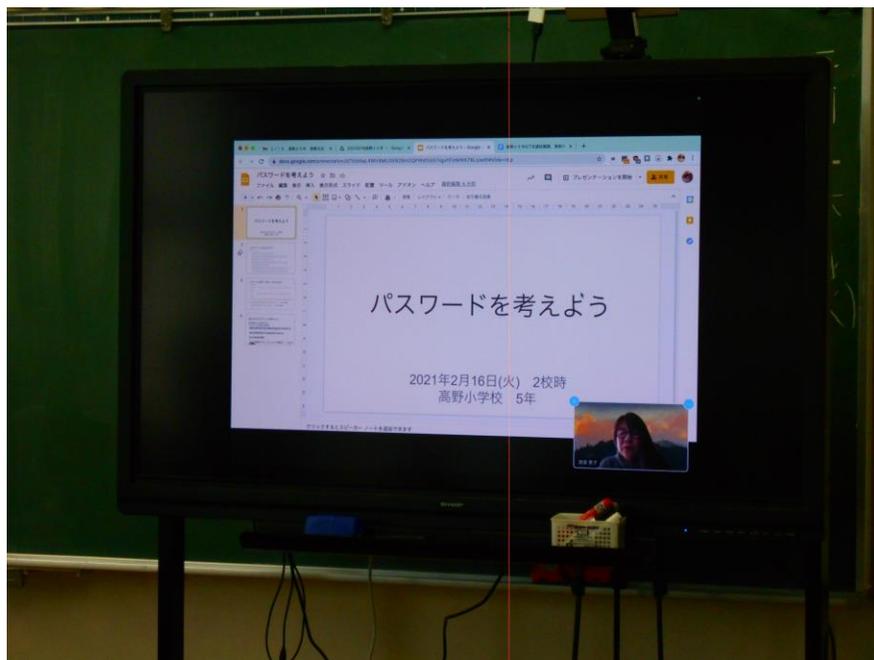
○授業参観で全員が発表。やはり慣れることが大事。

I C T 推進の視点から

プログラミング学習

2月16日

渡邊景子先生との授業



パスワードについて
の学習



理科の実験計画を立てる
学習

プログラミング学習

様々な場面でプログラミング的思考を身に付けさせたい。

フローチャートで思考の流れや手順を整理できないか



渡邊景子先生の説明と担任の事前の準備により、フローチャートを作成できた児童が多く見られた。

渡邊景子先生と内容を検討し、フローチャートを簡単に作成できる「Jamboard」を用いての授業を実施する。

担任が「Jamboard」に事前に枠を作成しておき、児童が操作しやすいようにする。

プログラミング学習

【成果】

○実験の手順を視覚的に整理することができ、実際の実験やその後の同様の学習にも生かすことができた。

○ノートやホワイトボードでもできることであるが、手直しなどが容易にできるので、考えることに集中できる。

【課題】

○「Jamboard」の操作に慣れるまでは、学習進度が遅くなる。

○考えることができる児童でも、操作自体が困難な壁になることがある。

児童の変容については今後も観察が必要である。